

島根県の経済動向

平成20年8月28日
政策企画局統計調査課

平成20年6月分

先月からの主要変更点

	6月分 ←	5月分
総括判断	<p>本県経済の動向は、<u>雇用情勢が一部に改善の動きがみられるものの総じて弱含み</u>、投資動向も基調として弱い動きが続いているが、<u>個人消費は底堅い動きがあるもののおおむね横ばい</u>、<u>生産活動も横ばい圏内の動き</u>となっており、全体として横ばいで推移している。</p>	<p>本県経済の動向は、雇用情勢が弱含み、投資動向も基調として弱い動きが続いているものの、生産活動及び個人消費はおおむね横ばいとなっており、全体として横ばいで推移している。</p>
個別項目	<p>「生産活動」 <u>横ばい圏内の動き</u></p> <p>「雇用情勢」 <u>一部に改善の動きがみられるものの総じて弱含み</u></p> <p>「個人消費」 <u>底堅い動きがあるもののおおむね横ばい</u></p>	<p>「生産活動」 おおむね横ばい</p> <p>「雇用情勢」 弱含み</p> <p>「個人消費」 おおむね横ばい</p>

(注) 下線部は、先月から変更した部分。

島根県の経済動向

平成20年8月28日
政策企画局統計調査課

平成20年6月分

本県経済の動向は、雇用情勢が一部に改善の動きがみられるものの総じて弱含み、投資動向も基調として弱い動きが続いているが、個人消費は底堅い動きがあるもののおおむね横ばい、生産活動も横ばい圏内の動きとなっており、全体として横ばいで推移している。

生産活動	⇒	～横ばい圏内の動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は100.6に上昇したが、対前年同月比は5か月連続でマイナスとなった。一方大口電力需要実績は35か月連続で前年を上回っており、横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	⇒	～一部に改善の動きがみられるものの総じて弱含み～	有効求人倍率は0.93倍に上昇したものの、新規求人数は2か月連続で前年を下回った。また、現金給与総額は3か月振りに前年を上回ったが、常用労働者数、きまって支給する給与は3か月連続で前年を下回っており、一部に改善の動きがみられるものの総じて弱含んでいる。
個人消費	⇒	～底堅い動きがあるもののおおむね横ばい～	大型小売店販売額は2か月振りに前年を上回った。ホームセンター販売額は2か月連続で、家電量販店販売額も4か月連続で前年を上回っており、底堅い動きがあるもののおおむね横ばいとなっている。
投資動向	⇒	～基調としては弱い動き～	公共工事請負金額は2か月連続で前年を上回ったが、建築着工床面積は3か月連続で、新設住宅着工戸数は2か月振りに前年を下回っており、基調としては弱い動きが続いている。
企業倒産	⇒	～倒産件数9件～	企業倒産件数は9件。うち建設業は4件、製造業は1件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は3か月連続でプラス～	銀行預金残高は2か月振りに前年を下回った。銀行貸出金残高は3か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒	～対前年2.4%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は102.4となり、対前年同月比2.4%増と8か月連続で上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数 (平成20年8月28日公表)		景気動向指数の先行指数は3か月連続で50%ラインを上回った。一致指数は2か月振りに50%ラインを上回った。
	法人企業景気予測調査結果 (平成20年6月23日公表)		財務省松江財務事務所の景況判断は、現状(20年4～6月期)の景況判断BSIは▲30.7%ポイントと「下降」超幅が拡大している。 先行きについては、翌期(7～9月期)、翌々期(10～12月期)と「下降」超幅が縮小する見通し。

経 済 指 標	前年同月比（*を除く）%						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	103.7	103.8	99.0	103.3	97.3	100.6
	" (原指数)	0.6	▲0.3	▲7.5	▲1.0	▲5.7	▲5.7
	大口電力需要実績	7.9	13.0	6.3	7.1	11.6	5.8
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.87	0.88	0.86	0.86	0.89	0.93
	新規求人数	▲4.6	▲1.1	▲14.0	1.8	▲5.7	▲3.1
	常用労働者数	0.3	0.3	0.4	▲0.7	▲0.3	▲1.0
	現金給与総額	▲0.9	▲0.5	0.5	▲2.1	0.0	0.5
	きまって支給する給与	▲0.4	▲0.4	0.2	▲1.6	▲0.2	▲1.4
	所定外労働時間（製造業）	6.7	9.7	4.5	4.9	8.0	▲1.5
個人消費	大型小売店販売額	▲0.7	2.4	2.7	0.4	▲0.4	4.9
	ホームセンター販売額	1.8	▲1.2	4.1	▲0.2	5.0	4.7
	家電量販店販売額	4.8	▲5.4	18.4	14.5	7.7	16.4
	乗用車新車登録台数	0.9	▲0.7	▲3.7	11.5	3.7	▲0.5
	出雲空港利用者数	▲1.5	1.4	▲1.0	4.6	5.7	1.0
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	▲13.9	▲21.7	113.8	▲66.5	▲19.6	▲84.5
	公共工事請負金額	104.4	43.0	16.9	▲25.9	39.9	16.8
	新設住宅着工戸数	6.3	▲57.5	▲1.8	▲38.0	78.1	▲43.9
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	4	6	7	10	9	9
	* 負債総額（百万円）	1,072	1,125	560	1,770	5,010	1,488
金融情勢	銀行預金残高	1.1	0.6	▲0.2	▲0.1	1.1	▲0.7
	銀行貸出金残高	▲2.4	▲2.6	▲0.6	0.0	0.3	0.2
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	101.3	100.9	101.3	101.1	102.0	102.4
その他	* 景気動向指数（先行指数）	42.9	57.1	42.9	57.1	71.4	71.4
	* 景気動向指数（一致指数）	33.3	33.3	44.4	55.6	44.4	100.0

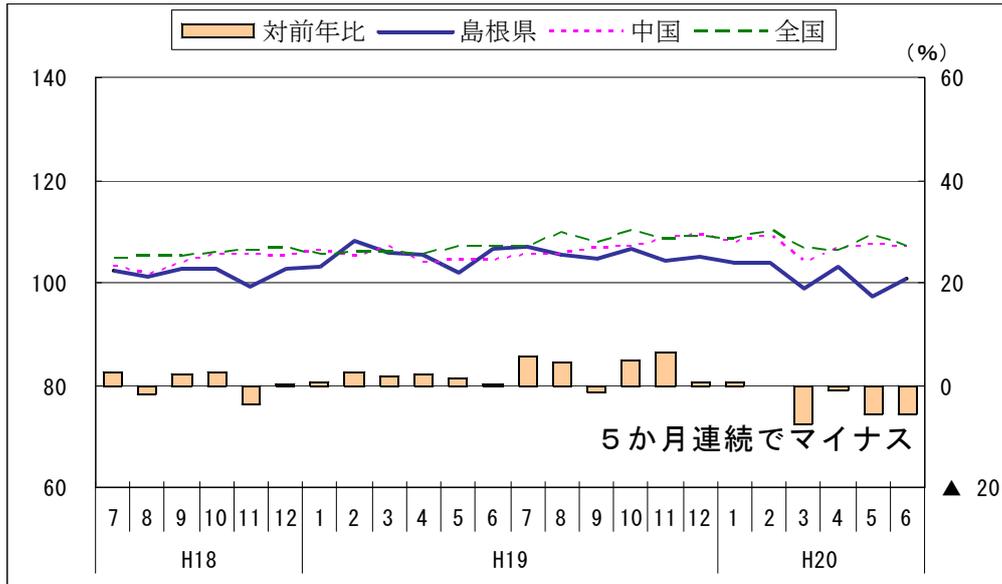
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	<p>「月例経済報告（内閣府）」 平成20年8月7日</p>
	<p>景気回復は、このところ弱含んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出は、弱含んでいる。生産は、緩やかに減少している。 ・ 企業収益は、減少している。設備投資は、おおむね横ばいとなっている。 ・ 雇用情勢は、厳しさが残るなかで、このところ弱含んでいる。 ・ 個人消費は、おおむね横ばいとなっている。 <p>先行きについては、当面、弱い動きが続くとみられる。なお、アメリカ経済や株式・為替市場、原油価格の動向等によっては、景気がさらに下振れするリスクが存在することに留意する必要がある。</p>
中 国 地 方	<p>「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成20年8月13日</p> <p>中国地域の景気は、基調としては横ばいに推移しているものの、景況感に慎重さが増しており、建設動向も低調に推移するなど、一部に弱い動きがみられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産動向…横ばいながらも一部に弱い動き 2. 景況感…一段と弱い動き 3. 産業用電力需要…堅調 4. 物 価…消費者物価は9か月連続の上昇 5. 個人消費…おおむね横ばい 6. 設備投資…堅調ながらもやや減速感 7. 建設動向…低調 8. 雇用動向…一進一退 9. 企業倒産…増加傾向 10. 貿 易…輸出は堅調
山 陰 地 方	<p>「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2008年7月31日</p> <p>山陰両県の景気は、横ばい圏内の中で、弱めの動きがみられる。すなわち、最終需要面をみると、設備投資は高水準を維持しているものの、企業の投資スタンスはやや慎重化している。個人消費は足もと弱めの動きとなっている。また、公共投資は年度初来累計では前年を上回っているが、住宅投資は引き続き減少している。こうした中、生産は高水準ながら、一部に操業度引き下げの動きがみられており、雇用・所得情勢も改善に足踏みがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産は、高水準ながら、一部に操業度引き下げの動きがみられる。 ・ 個人消費は、足もと弱めの動きとなっている。 ・ 企業の設備投資（6月短観調査）をみると、高水準を維持しているものの、投資スタンスは足もとやや慎重化している。 ・ 公共投資は、大型工事案件の集中から、年度初来累計では前年を上回っている。 ・ 住宅投資は、減少している。 ・ 雇用、所得情勢は、このところ改善に足踏みがみられる。
	<p>「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 平成20年7月28日</p> <p>当地の景気は、住宅建設や個人消費などに基調的な弱さがうかがえ、生産もこのところやや弱含んできている。公共投資は底堅い動きであるが、総じて弱含みで推移している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資は、底堅い推移となっている。 ・ 設備投資は、全産業でも前年度を下回る計画（日銀短観 6月）。 ・ 住宅建設は、弱い基調での動きが続く。 ・ 個人消費は、基調は弱いだが、一部に底堅い動きもみられる。 ・ 生産は、総じてはやや弱含みでの推移が続く。 ・ 雇用情勢は、総じて横ばい圏内で一進一退の推移となっている。 ・ 企業の業況判断は、足元、製造業、非製造業ともに悪化したことから、全産業でも悪化（▲17→▲24）。先行き（08年9月）についても、製造業、非製造業ともに悪化を予想していることから、全産業で悪化（▲24→▲31）の見通し（日銀短観 6月）。
島 根 県	<p>「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 平成20年7月30日（四半期ごとに公表）</p> <p>県内経済は、持ち直しの動きが続いている個人消費に一部弱い動きがみられるほか、生産活動にこのところやや弱さがみられることなどから、足踏み状態となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱い動き ・ 生産活動 やや弱さがみられる ・ 雇用情勢 引き続き弱含んでいる ・ 公共事業 前年度を上回っている ・ 設備投資 20年度は減少見通し ・ 企業収益 20年度は減益見通し

経済指標の推移

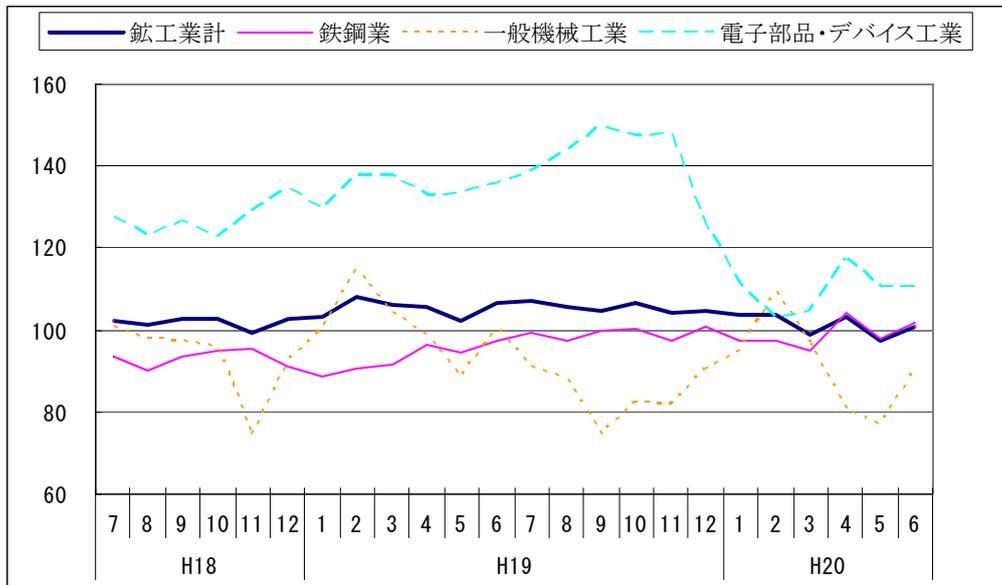
【生産活動】 ～横ばい圏内の動き～

鉱工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



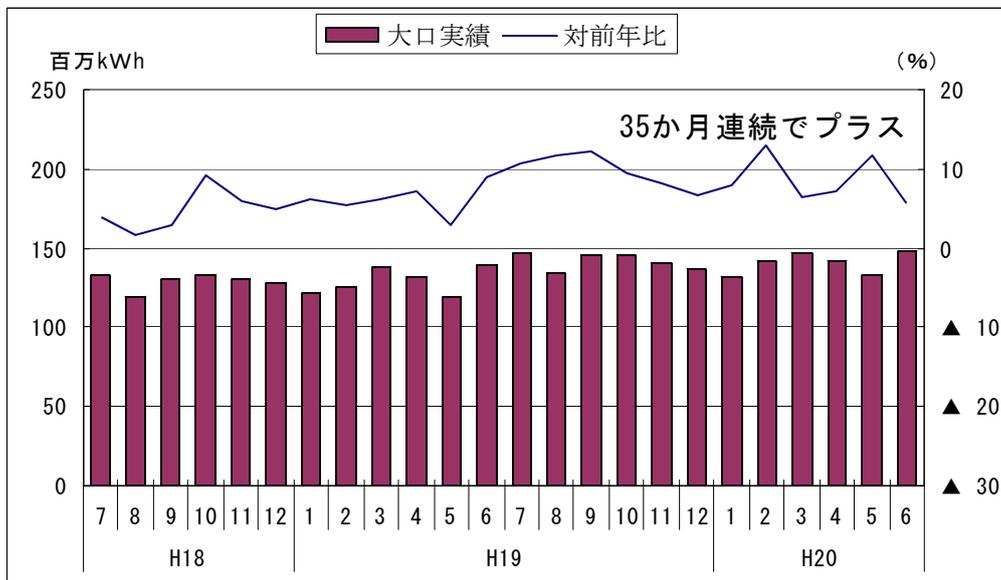
(注) 対前年比は、島根県の原指数 (県統計調査課、経済産業省)

島根県鉱工業生産指数（業種別）



(県統計調査課)

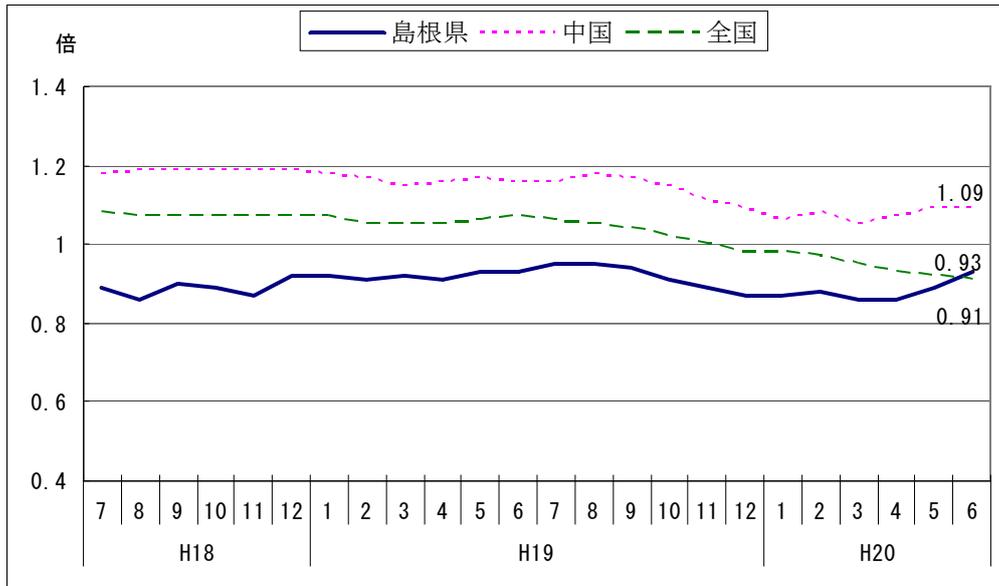
大口電力需要実績



(中国電力株)

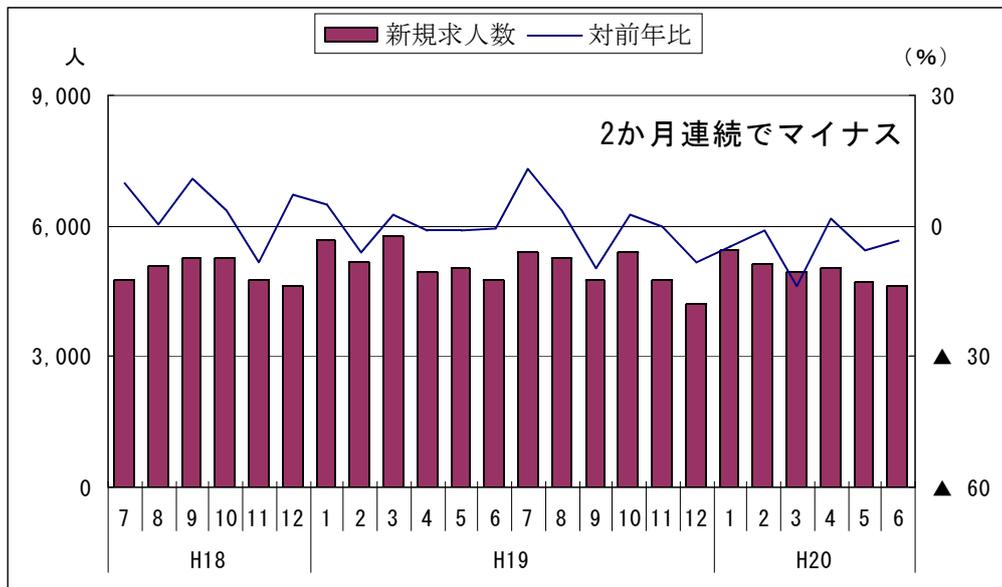
【雇用情勢】 ～一部に改善の動きがみられるものの総じて弱含み～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



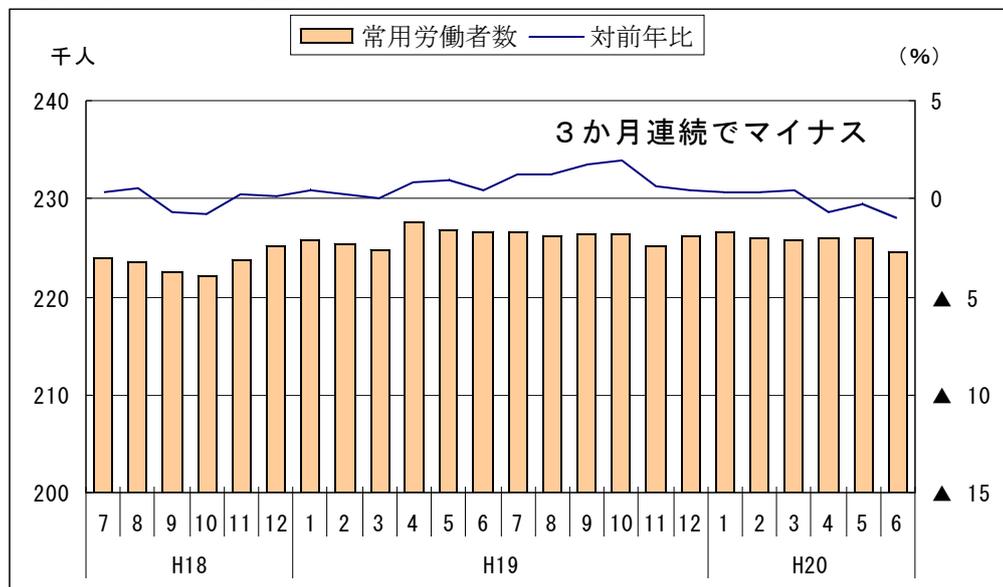
(厚生労働省、島根労働局)

新規求人数



(島根労働局)

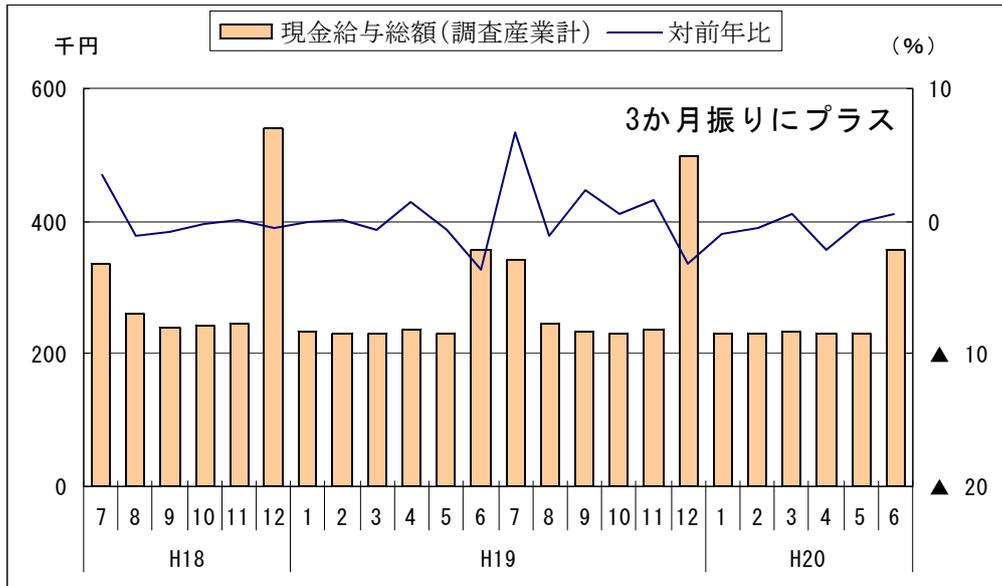
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

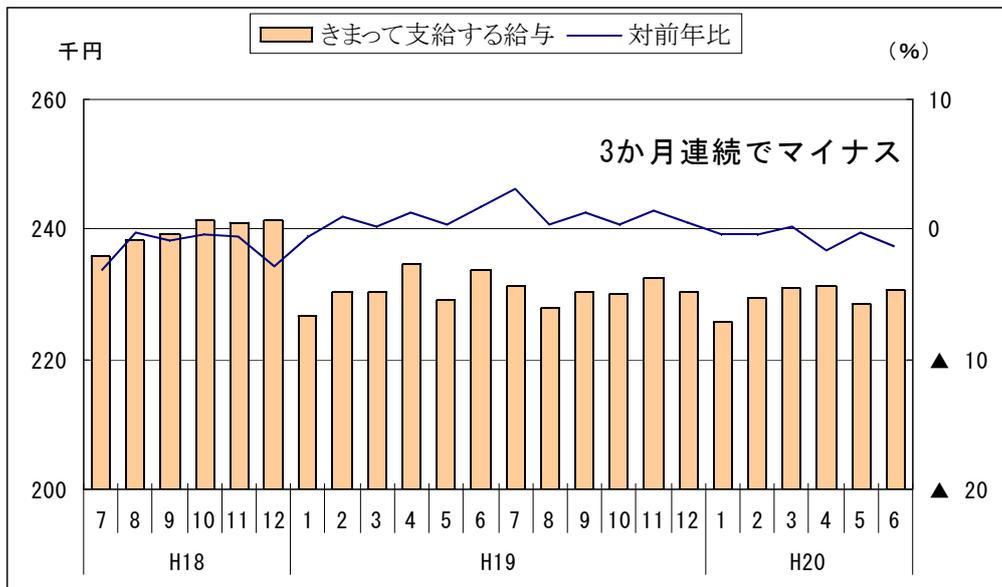
【雇用情勢】 ～一部に改善の動きがみられるものの総じて弱含み～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



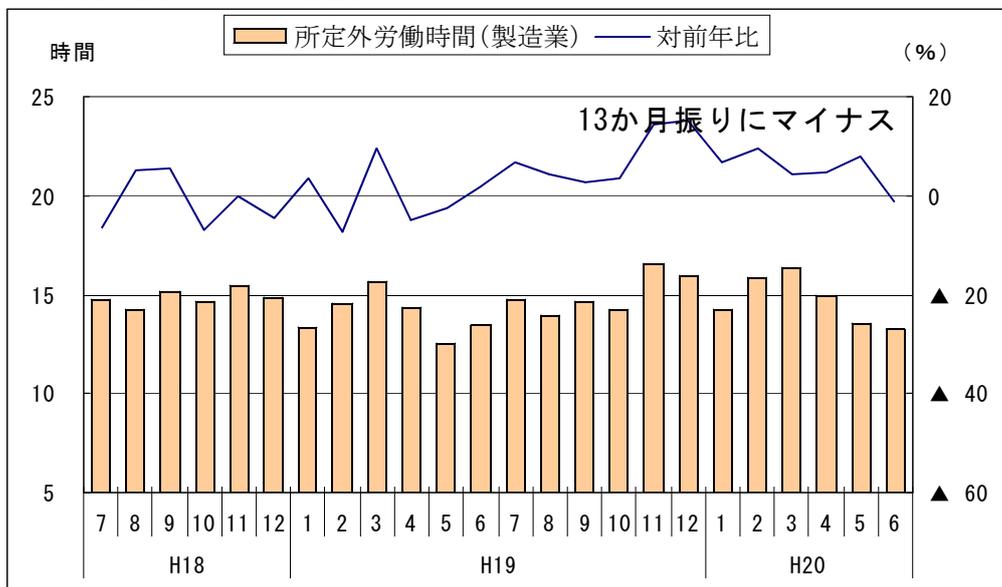
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

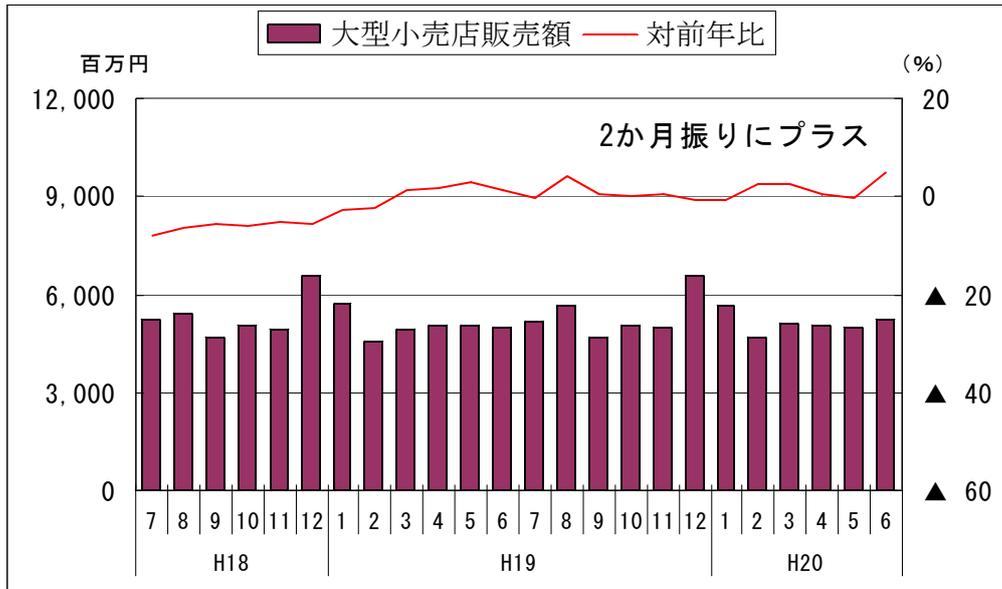
所定外労働時間（5人以上・製造業）



(県統計調査課)

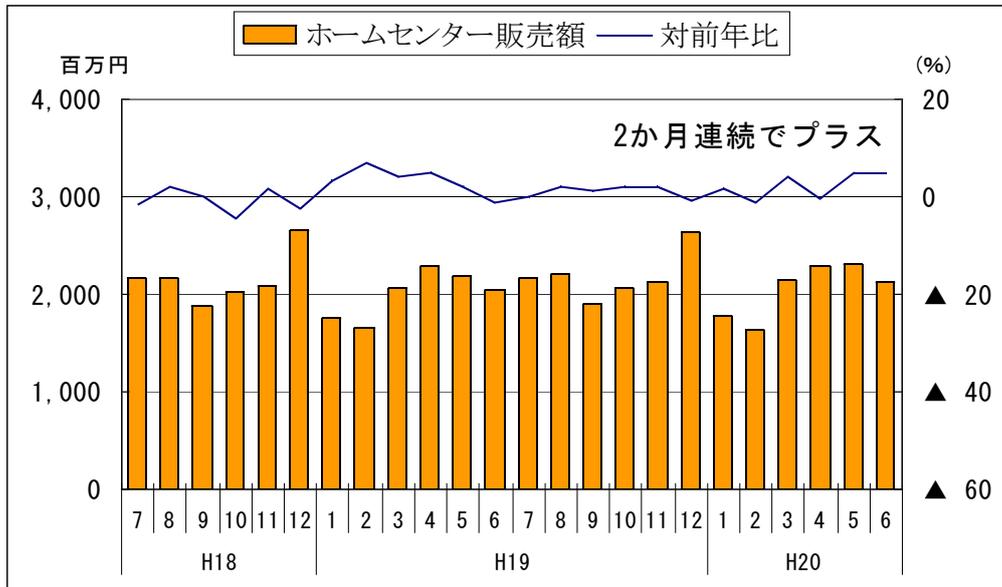
【 個人消費 】 ～底堅い動きがあるもののおおむね横ばい～

大型小売店販売額



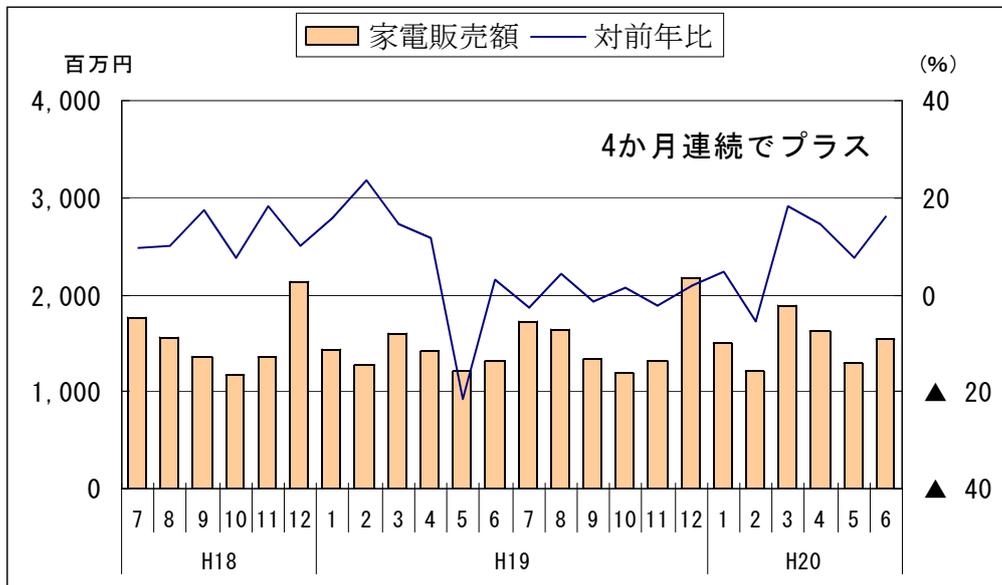
(中国経済産業局)

ホームセンター販売額



(中国経済産業局)

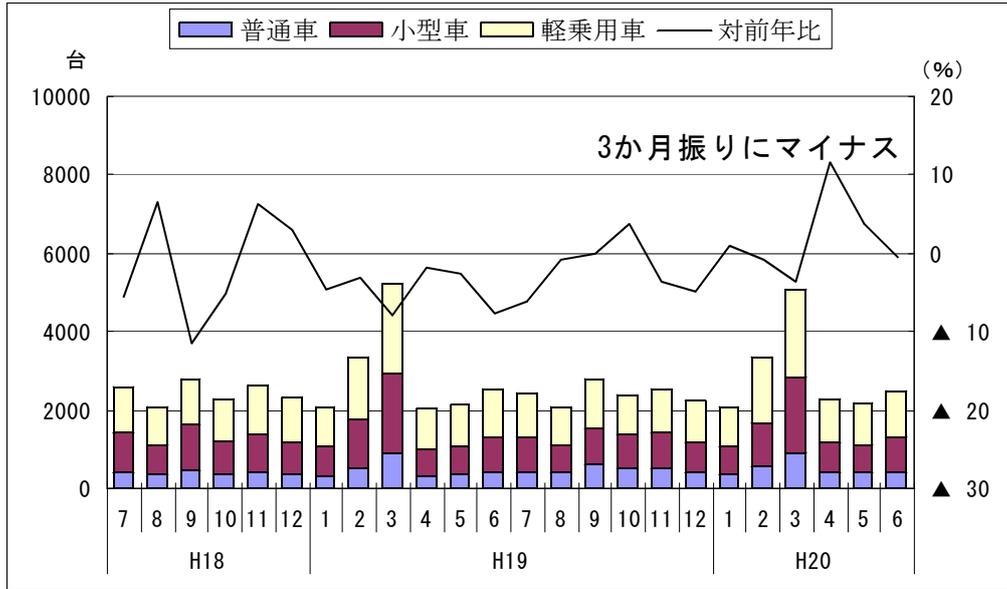
家電量販店販売額



(中国経済産業局)

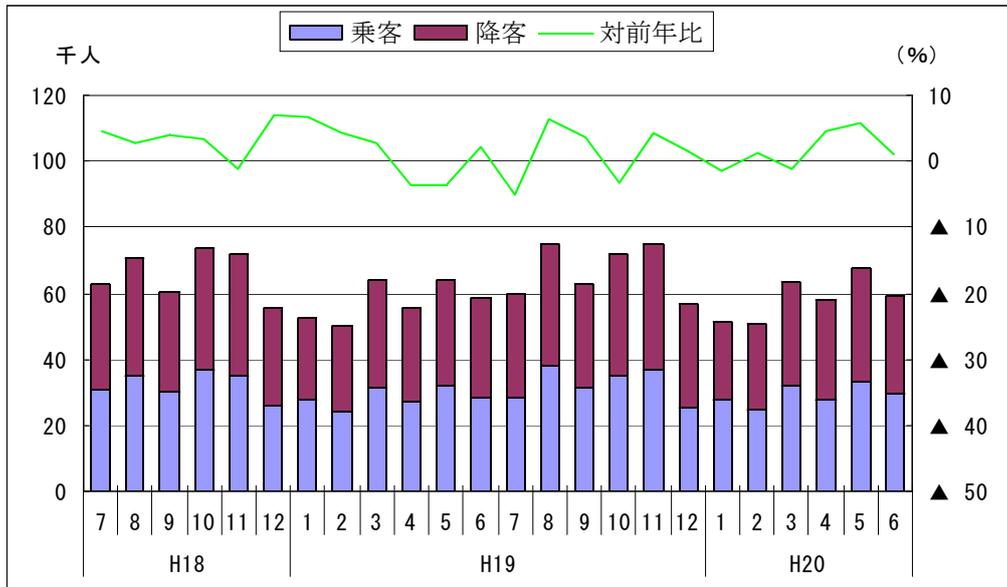
【 個人消費 】 ～底堅い動きがあるもののおおむね横ばい～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

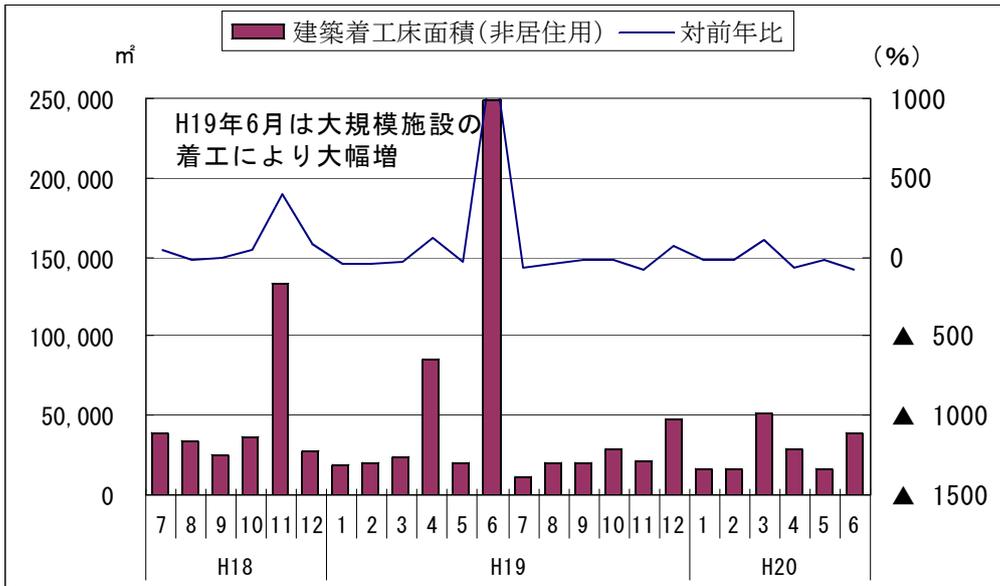
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

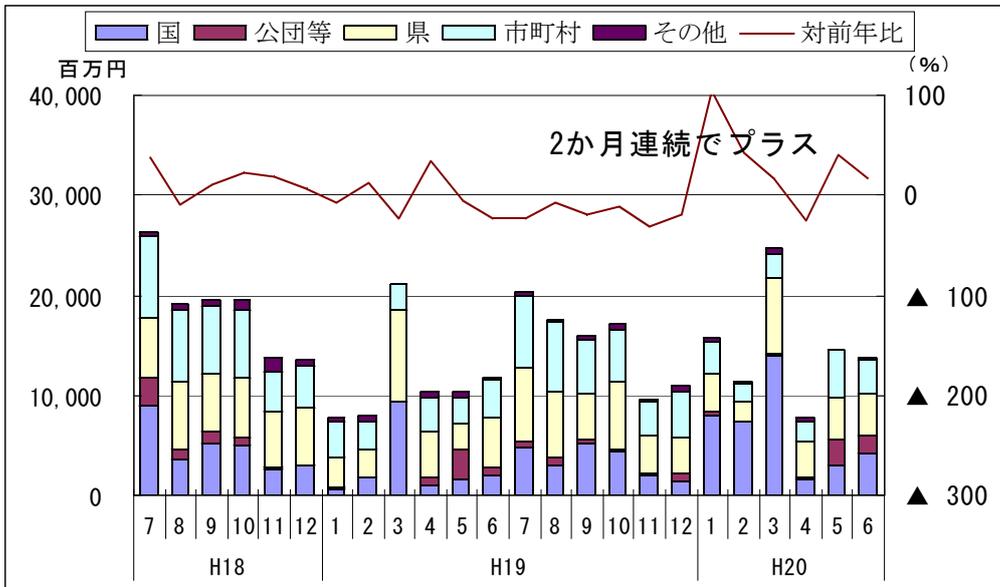
【 投資動向 】 ～基調としては弱い動き～

建築着工床面積（非居住用）



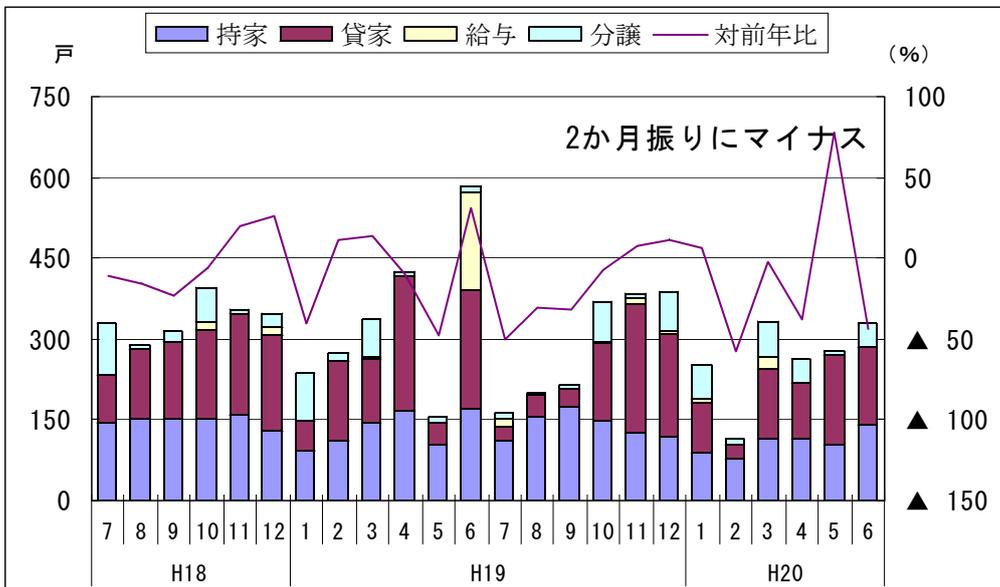
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証㈱)

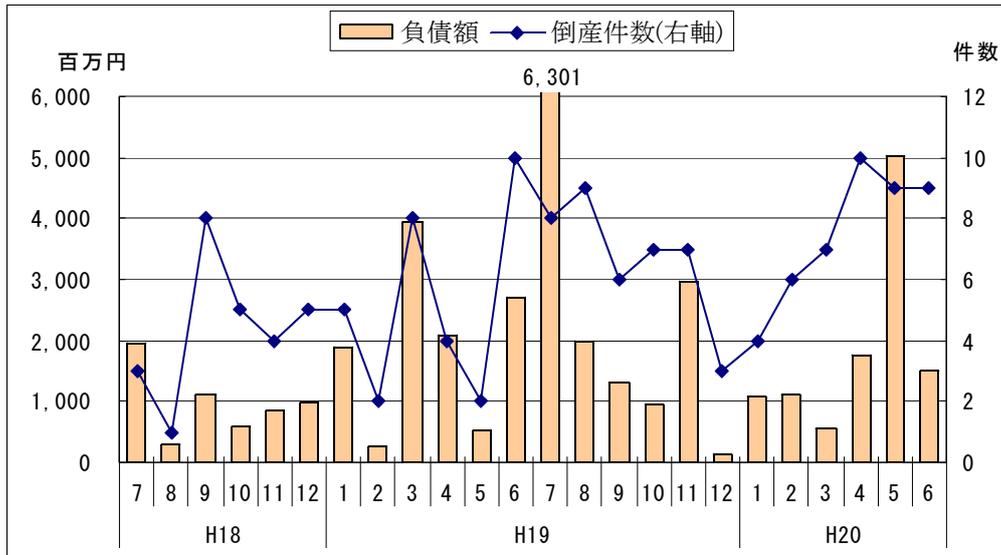
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数 9 件～

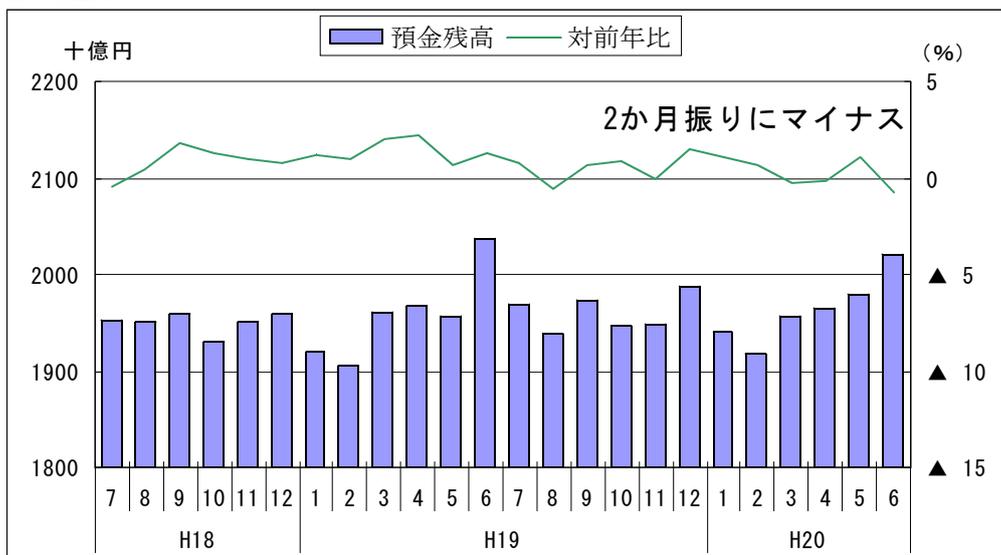
企業倒産件数、負債総額



(株東京商工リサーチ)

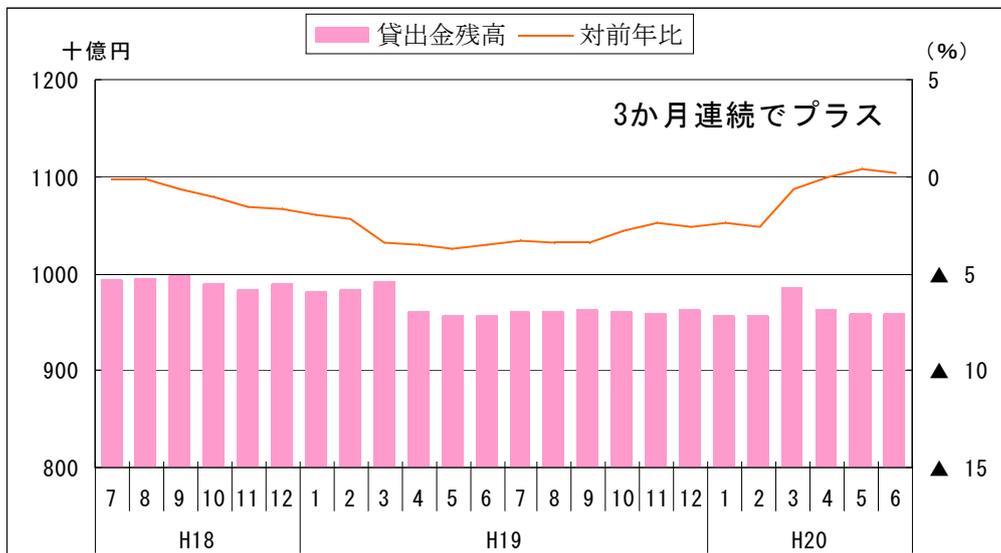
【 金融情勢 】 ～貸出金残高が、3か月連続でプラス～

銀行預金残高



(日本銀行松江支店)

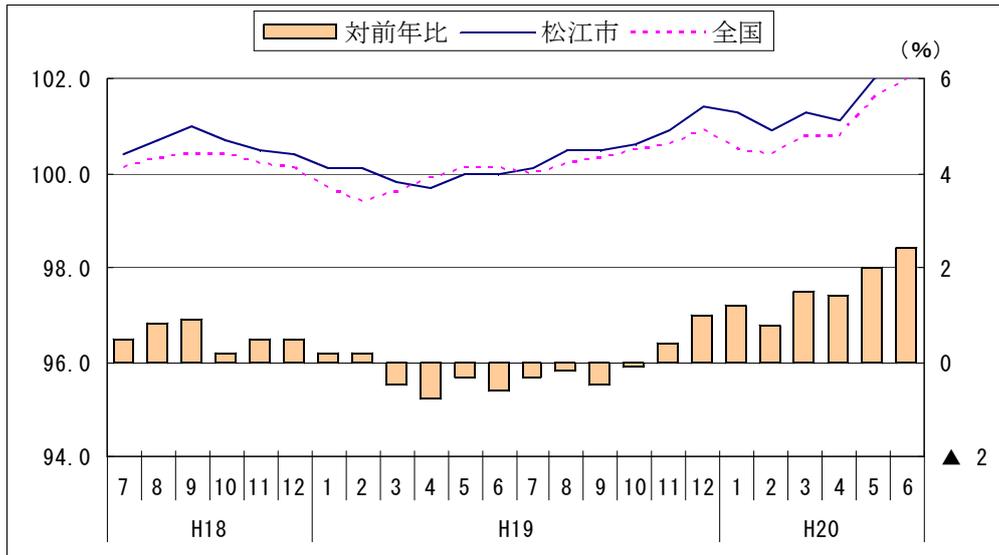
銀行貸出金残高



(日本銀行松江支店)

【物 価】 ～対前年 2.4%の上昇～

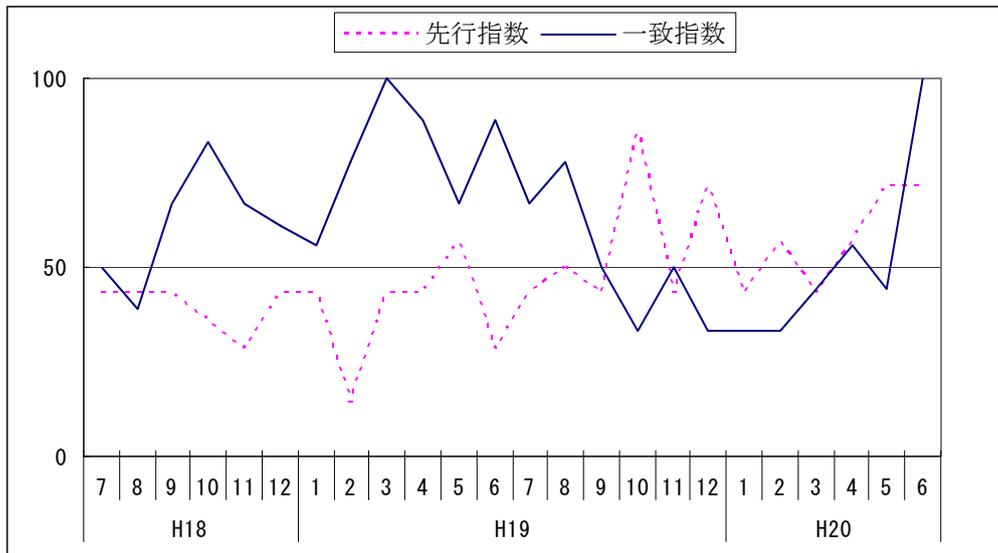
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） H17年=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果（平成20年6月23日 財務省松江財務事務所）
平成20年4～6月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	20年 1～3月 前回調査	20年 4～6月 今回調査	20年 7～9月 見 通 し	20年10～12月 見 通 し
全 産 業	▲18.6	(▲14.4) ▲30.7	(▲ 8.2) ▲16.8	▲ 1.0
製 造 業	0.0	(▲ 5.7) ▲34.1	(8.6) ▲12.2	4.9
非製造業	▲29.0	(▲19.4) ▲28.3	(▲17.7) ▲20.0	▲ 5.0
大 企 業	0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	0.0
中堅企業	▲27.6	(0.0) ▲30.3	(6.9) ▲ 9.1	6.1
中小企業	▲16.1	(▲22.6) ▲33.9	(▲16.1) ▲22.6	▲ 4.8

※ () 書きは、前回(20年1～3月期)調査時の見通し。